

校長室だより

夢に向かって共がんばる児童の育成

児童数 341名 No.26

令和5年2月10日 文責 校長 城戸 幸一

2月の全校朝会



2月8日(水)の全校朝会で、3つの話をしました。

①節分(2/3)と立春(2/4)の話。

節分は季節の分かれ目。立春は暦の上では、もう春です。

②ふきのとうの話。

2年生の国語の教科書に出てくるふきのとう。お話の中に、春風が吹き、ふきのとうが雪の下から芽を出す場面がある。春を感じます。

③梅の話。梅は、草木の中でいち早く花を咲かせます。梅のつぼみは、寒さにじっと耐え、2月になるとつぼみから花へと変身していきます。3学期も、残り2ヶ月を切りました。

みなさんもこの梅のように、今の学年で身に付けるべきことをしっかりと頭と身体に蓄えて、つぼみを膨らませ、6年生は3月の卒業式と4月の中学進学に向けて、1年生から5年生は進級に向けて、春に大きな花を咲かせてくれることを楽しみにしています。

3~5年生の代表委員会



1月31日(火)に「6年生を送る会」に向けた話し合いの場「代表委員会」がありました。今回は3~5年生のクラス代表と各委員会の5年生の代表が出席しました。

6年生に感謝の気持ちを伝えるため、サブタイトルをどうするか、どんな飾り付けをするかなどみんなでアイデアを出し合いました。今後は、各学年で出し物の練習を頑張り、6年生を送る会を大いに盛り上げてくれると思います。

こども110番の家に お礼の手紙



校区内には、100戸以上のこども110番の家があり、子供達の登下校の安全に、ご協力いただいています。その110番の家に、1年生がお礼の手紙を書き、6年生が届けました。手紙には、「いつも見まもってくださってありがとうございます。おかげであんしんしてとう下校できます。これからも、よろしくおねがいます。」とありました。今年度のご協力、誠にありがとうございました。

6年生 プログラミングワークショップ



2月8日(水)6年生を対象に、プログラミングの出前授業がありました。講師はタイムカプセル株式会社社長の相澤謙一郎さんです。相澤さんは、中学生の時にゲームクリエイターになりたいという夢に、高校生の時にはハンドボール日本一という夢に向かって頑張られていたそうです。残念ながら、その夢は叶わなかったのですが、その夢に向かってやってこられたことが今の会社(IT×スポーツ)に繋がっているとお話でした。自分の興味のあることを突き詰めて頑張ること、自分の夢に向かって頑張ること、自分の未来が開けてくるというメッセージだったと思います。授業では、ニンテンドー3DSのプチコンというソフトを使い、簡単なBASICプログラミングの体験をしました。少し難しいのではと思っていましたが、子供達はいとも簡単にプログラムを組み、文字を表示したり、音を出したり、計算機能を作ったりと楽しみながら貴重な体験をすることができました。相澤さん、ありがとうございました。

※登校前の健康観察(検温等)。新型コロナ感染症拡大防止対策へのご協力を宜しくお願い致します。